

# 【上北】六戸町立大曲小学校

**内容** 自分に必要な情報を得るための活動を通して、百科事典の使い方や、インターネット検索の方法を理解し、得た情報をまとめさせる。

【児童に提示した資料①】

日本の伝統工芸

- ① 種類 — 地図帳、伝統工芸 (ポプラディア情報館)
- ② 歴史 — ポプラディア百科事典、インターネット
- ③ よさ (みりやく) — ポプラディア百科事典、インターネット、新聞

4学年国語「伝統工芸のよさを伝えよう」ではリーフレット作りがある。  
調べる観点や方法として右の3点を提示したパスファインダーを作成した。

【児童に提示した資料②】

調べのヒント

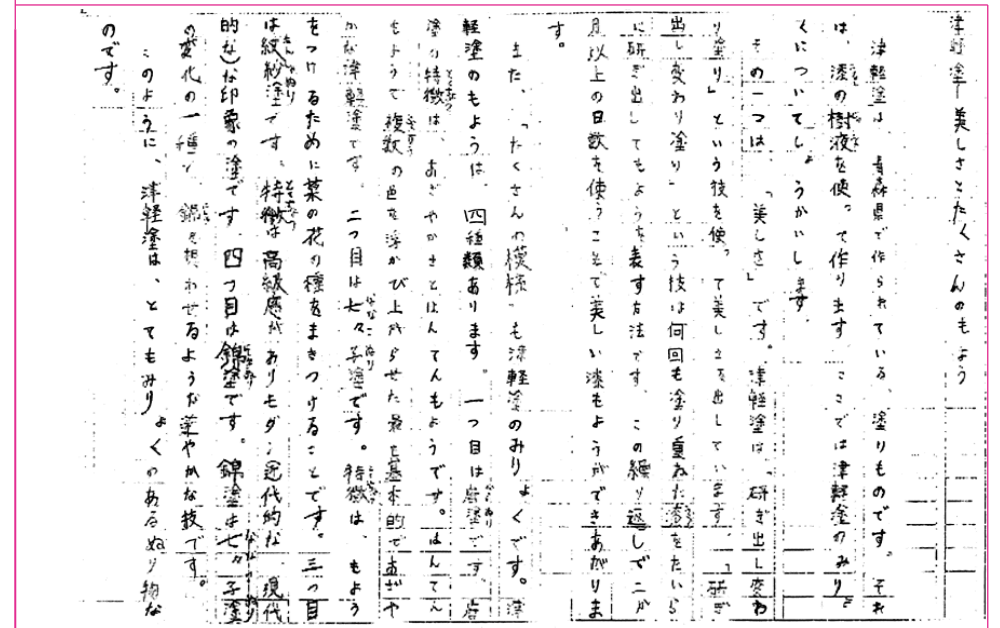
- ① 種類について
  - ・地図帳の記号(仮)をさんごにする。
  - ・調べた伝統工芸について、百科事典(伝統工芸)で調べる。
- ② 歴史について
  - ・百科事典で調べるときは、見出し語の頭文字の巻からさがす。
  - ・インターネットで調べるときは、「〇〇〇〇 ねほし」とキーワードを入れる。
  - ・分からない言葉の意味は、国語辞典で調べる。
- ③ よさ(みりやく)について
  - ・新聞記事の中から、特に目立って伝えられている内容をさがす。
  - ・つくられている県のホームページののっていることもある。(リンク)

「調べのヒント」をもとに下の順で活動した。

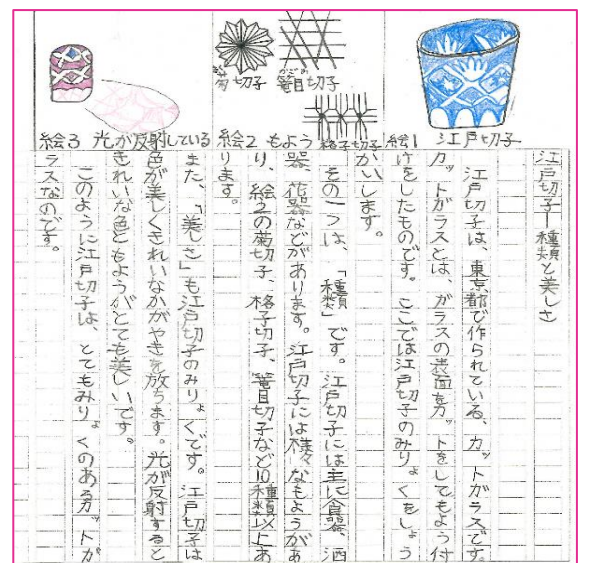
- ① 伝統工芸について興味をもつ
- ② 知りたい伝統工芸についての歴史を調べる
- ③ 選んだ伝統工芸のよさを周囲に発信するための情報を収集する
- ④ リーフレットにまとめる

## 成果と課題

- インターネット以外の調べる方法に興味をもち、百科事典に親しむことができていた。
- 百科事典の使い方を学んだことで、伝統工芸に関係することや、それ以外の事柄も調べようとする姿が見られ、児童の興味の幅が広がった。
- ▲自分が調べた情報の中から、必要・不必要を振り分けることが難しかった様子が見られたので、情報を分別するための「調べのヒント」を提示したい。
- ▲何にでもインターネットを使うのではなく、本や新聞記事等からも知識や情報を得られること、よさを感じられるような、紙媒体に親しむための課題提示の方法が今後の課題であると思われる。



### 〈児童が作成したリーフレット〉



## 【下北】東通村立東通小学校

### 内容（１）放送による読み聞かせ

毎週木曜日、給食の時間に放送で読み聞かせをしている。時間は10分程度。できるだけ時間内に読み終えることができる長さの本を選んでいるが、時間内に読み終えることができない場合は、次の日も読むことがある。放送で紹介した本は図書室の中で展示しておくことで、また読みたいと思った児童がいつでも読んだり借りたりできるようにしている。

### 内容（２）毎月の本の紹介

毎月、図書室以外の場所（子供たちがよく通るランチルームの壁面）で、その月に見合った本や新刊本、おすすめの本を月の季節に応じた装飾を加えながら紹介している。

### 内容（３）折り紙コーナー

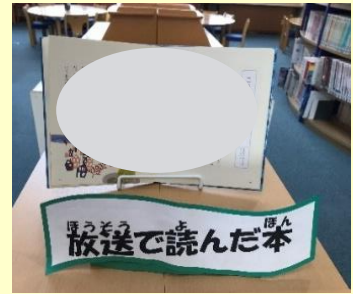
折り紙の本、折り紙、テープ等製作に必要なものを準備し、子供たちが自由に作ることができるコーナーを設けている。お互いに教え合う微笑ましい光景が見られる。

### 内容（４）図書委員会による読書推進活動

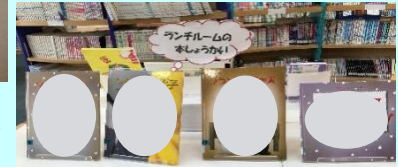
図書室以外の場所に図書委員会のコーナーを設け、そこで図書委員のおすすめの本を紹介している。年に1～2回は読み聞かせも実施している。

【成果】児童の目に付く場所に本の紹介コーナーを設置したり、毎週、放送で読み聞かせをすることにより、児童が図書室を利用するきっかけとなった。さらに、展示した本と関連のある内容の本を探す姿も見られるようになってきた。図書委員のおすすめの本を写真付きで紹介したところ、立ち止まって見る児童が増え、図書室に足を向けてくれる児童も増えてきた。

【課題】高学年の図書室利用が減少傾向にあるため、興味・関心に合う本のリーフレット作成や、図書委員の活動としてクラスでの本紹介を行うなどの工夫を加えていきたい。授業等、各学級で図書の活用が増すよう、学級担任の先生方と積極的に連携を図りたい。



（１）放送による読み聞かせ



（２）毎月の本の紹介



（３）折り紙コーナー



（４）図書委員の本紹介

## 【三八】 八戸市立白銀小学校

### 内容① 学校司書との連携

昨年度から学校司書が配され、学校図書館の環境整備や図書の修理などが行われていた。今年度は、学校司書と連携を深め、学校図書館のさらなる活用を図るために次のような活動を行った。

#### (1) ブックトーク

学級担任がお願いしたテーマに合わせて、学校司書がブックトークを行った。

#### (2) 学校図書館の使い方

借りたい本の探し方や図書の分類のきまりなどの説明を、学校司書と司書教諭等が協力し、学年に応じて行った。

#### (3) 市立図書館との連携

学校にある本だけでは冊数や種類が足りなかった場合に、先生方の依頼を受け、学校司書が市立図書館から本を借りてきた。

### 内容② 本の紹介カードの展示

長期休業に読んだ本の中から自分のおすすめしたい本を選び、「本の紹介カード」を書く活動を全校で行っている。これまで学校図書館の壁面に掲示していたが、今年度は、より児童の目に留まりやすいように学年ごとにまとめて図書室のテーブルの上に置いて展示した。

### 成果と課題

- 児童や先生方に学校司書の取組を知ってもらうことができた。
- 学校司書と連携したことによって、児童の学習の理解が深まったり、主体的な読書活動につながったりした。
- 学校司書の専門的な知識を生かした図書資料のレファレンスを行ってもらうことができた。
- 友達が書いた本の紹介カードを見て興味をもち、同じ本を借りる児童が見られるようになった。
- 学校司書と学級担任がコミュニケーションをとる時間が確保できなかつたり、授業の関係で一緒に活動できなかつたりした。
- 学校図書館の蔵書が少なく、児童にとって魅力的な図書が少ないため、図書の充実を図っていきたい。



(1) 学校司書によるブックトーク



(3) 借りてきてもらった本を選ぶ児童



②本の紹介カード